

春日丘高等学校SGH通信 VOL 4
シンガポール研修 第3回 事前学習会
シンガポール講演会

春日丘高等学校啓明コース第2学年は、2年前よりシンガポール研修旅行を実施しています。本コースにおける最大の行事である海外研修旅行を通して、生徒が日本国内だけでなく、広く東アジア、東南アジアに視野を広げ、日本が今後どのような国づくりをすべきか、また近隣の諸国といかなる関係を築くべきか深く考える機会としています。そのために総合的な学習の時間を利用し、シンガポールについての事前学習を行っています。事前に同国についての調べ学習やシンガポールについてのポスター発表などを通して、自ら解決すべき課題と研究テーマを設定します。課題を設定した上で研修旅行を現地調査の場とし、研修後に研修レポートの作成やプレゼンテーション発表を行って行きます。

これまでの学習会ではシンガポールについての地理、歴史、文化に関する基本情報をレクチャーした上で、生徒は班単位でシンガポールの情報をまとめ、冊子としてまとめました。5月30日(土)に行われた今回の学習会は、事前学習の第3回となります。「シンガポール講演会」と銘打ってシンガポールからの留学生を招き、約1時間シンガポールのようすをネイティブの目線で紹介していただきました。講演会を行っていただいたテンシュオシェン(Teng Siao Shuen)さんは母国で6年間日本語を学習しており、現在は早稲田大学の留学生として日本に来てわずか2ヶ月足らずですが、流暢な日本語でシンガポールについて説明されるようすに生徒達も驚いている様子でした。

講演の内容はシンガポールの基本情報だけでなく、「教育」「公共交通機関」「民族ごとの服装」「住宅事情」「料理」「マナー」「観光地」などシンガポールの実際のようなようすを具体的に感じられるものでした。なかでも多民族国家の多様性が感じられるシンガポールの料理では、時折生徒からの歓声も上がりました。また日本と違う習慣やシンガポールから見た日本のイメージなどの話では、普段当たり前と感じている日本の日常を客観的に感じる事ができたようで、日本という国を世界の中の一国として相対的に考えるきっかけになったと思います。講演を通して、これまで自分たちでまとめたシンガポールの知識と現在のシンガポールの実際を比較検証することは、生徒にとっても大きく課題探求学習のモチベーションを高めるものとなりました。

講演会の最後にはテンさんが日本への留学を目指したきっかけから、留学にいたるまでの話がありました。遠く離れたシンガポールで日本語を学び、留学を通して日本の大学で学ぶ中でコミュニケーションにおける言語の大切さを再認識したこと、また今回の講演の準備を通して自分自身が母国のシンガポールをより知ることや気づく事ができたこと、さらにテンさんの夢は2020年の東京オリンピックで通訳として活躍したいということでした。このようなテンさん自身の経験を踏まえた話は、これからシンガポール研修旅行に向けて準備を進めていく生徒達にとって大きな指針になったと思います。また将来の夢をもって学ぶ姿は、生徒達に将来に向けて自分たちの可能性や視野を広げさせ、学ぶ意義や学ぶ意欲を高めさせるものとなりました。

公演後には生徒からの質問会が行われました。「班別研修の際におすすめの見学先は。」「シンガポールの高校ではどんな科目があるのですか、またどんな宿題が出るのですか。」「シンガポールの女性の社会進出は日本より進んでいるようですが、現地での職場の環境や意識というのはどのようなものですか。」「シンガポールの兵役制度は国民からどのように思われていますか。」「シンガポールの高校生の仕事に対する意識はどのようなものですか。」「シンガポールには日本のような医療保険制度はどのようなものですか」など、積極的な質問が出ました。今後生徒一人一人が研究テーマを設定していく上で非常に有意義なものになりました。

講演会の終了後テンさんを中心に記念写真を撮りました。出会って1時間半ほどですが、生徒達の笑顔からは今後のシンガポール研修旅行の準備がより充実したものになっていく、そんな雰囲気が感じられました。

シンガポール講演会：生徒の感想

「いろいろな文化が混在しているということが魅力的だなと思った。人々がどのように共存しているのだろうと思った。」

「電車内や路上でのマナーの厳しさに驚きました。」

「シンガポールの教育制度は日本とは違い即戦力を求めているようなカリキュラムだった。」

「春日丘高等学校と同じ50周年で、ものすごい発展を遂げた国だということが分かった。」「高校でも授業が選択でき、課題や宿題がレポートや自分の意見を求められるものを中心だということが分かった。」

「小さな国ですべての民族が自分たちの文化や伝統を守り、かつ多民族を尊重しているのは素晴らしいことだと思った。」

「シンガポールの衣食住について親近感を持つことができました。」

「シングリッシュについて、c a nの語尾に単語をつけて様々なバリエーションがあるのはおもしろいと思った。」

「自分の国が普通だと思ってしまいがちだけど、今回の話を聞いて異文化に興味がわきました。」

「同じアジアの国で違うところがたくさんあり、シンガポールへの研修旅行が楽しみになりました。準備頑張ります。」

「女性の社会進出を支えるための家事や育児を助ける環境ができていて、女性の社会参加が日本よりも積極的であることが分かった。」

「自分が知りたかったことを講演のなかで話していただいて、新たな関心をもつことができました。今後は自分で調べて行きたいと思うことができました。」

「リークアンユー元首相が具体的にどんな改革、政策をとって、どのような恩恵を受けて現在へと変わったのか興味を持ちました。」

「シンガポールの交通について興味があった。交通の便の良さなどは経済発展の状況に比例していると感じているので、交通システムを調べてみたいと思った。」

「留学生の立場からの話だったので、先生の話やネットに書いてあることよりも親近感があり、シンガポールについてより好感がもてました。」

「シンガポールがマナーについて厳しいのは、多民族国家においてお互いに上手につきあうためのものではないか、と思いました。」

「他国のことと自国を比べると、まずは自国のことを何倍も理解していないといけないと思った。頑張って調べよう！」

「中国とマレー文化の融合によりできたラスクのように食文化から多民族国家について調べてみたいです。」

「講演を聞いて、自分が日本の歴史や社会について全く興味を持っていないことが情けなく思いました。」

(シンガポール講演会のようす)

